

Ⅲ 努力点・指針

努力点	努力点の指針（学校の具体的な行動）
1 学校経営・学級経営の充実	(1) 教育目標・教育課題を把握し、学年経営でその具現化に取り組む。（学校・家庭の共通実践事項での確実な取組）
	(2) マネジメントサイクルを生かした校務分掌組織の機能化を進め、組織的な取組を行う。
	(3) 学校評価（自己評価・学校関係者評価・共通実践事項評価）を生かした家庭や地域との連携と改善を行う。
	(4) 地域や学校、児童の実態を踏まえた特色ある学校づくりに努める。
2 個に応じた学習指導の強化と基礎学力の定着	(1) 授業充実のための3ポイントの実践に努める。 ア 導入の工夫…ブレテスト、学習のめあてや課題の設定、学習の手順や方法の確認（ガイド学習）を確実に行う。 イ 自力解決の場…一人学び・ペアやグループの交流活動、練り合いの場、書く活動を取り入れた授業の実践に取り組む。 ウ まとめの工夫と定着の確実な見届け…補充問題と発展問題、ポストテスト・ドリル等の実施する。テスト後は100点にして返す指導を徹底する。
	(2) 子ども一人一人の課題や能力に応じた指導を充実させる。（標準学力検査、全国学力・学習状況調査、鹿児島定着度調査、個票の活用、補充指導）
	(3) 基礎的・基本的内容の理解と定着を図るために教材研究を充実させる。（教材の準備と発問計画や板書計画を立てる）
	(4) 基礎・基本の徹底と繰り返し指導に努める。（漢字・計算・作文・読書の指導等）
	(5) 学習指導法の工夫・改善を行い、通過率や達成率等の結果にこだわる取組を推進する。（ICT等の活用、指導過程の共通実践）
	(6) 家庭学習の習慣形成に取り組む。（宅習時間の目安：20分＋10分×学年 読書：選定図書の完読 長期休業中の課題の工夫）
	(7) 表現力や伝え合う力の育成に取り組む。（テーマ研究の推進、各種作品展への積極的な応募、朝の会・帰りの会や行事・儀式での発表等）
	(8) 移行措置における教育課程を確実に実施する。（授業時数の確保 各教科の指導内容 外国語科・外国語活動）
	(9) 複式指導法の研究と共通実践事項（ガイド学習の進め方）の確実な定着に努める。
	(10) テーマに基づく問題解決的な学習や体験活動（調査・見学・実験・観察・発表等）を取り入れた総合的な学習の時間を充実させる。
※ 南九州市スタンダード（授業構想）の共通実践	
3 情操を高め、豊かな心を育てる生徒指導の推進	(1) 共通理解に基づく生徒指導の全校体制の確立に努める。（子どもを語る会の機能化、共通実践の確認、教育相談の実施）
	(2) 「考える道徳」「議論する道徳」への指導の転換を図り、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
	(3) 生命や自然、崇高なものに対する畏敬の念を育てる道徳教育を推進するとともに、参観日に道徳の授業公開を行う。
	(4) 教児が一緒になってボランティア活動（JRC、ふれあいボランティア）や交流活動を計画的に行う。
	(5) 勤労・職業観を醸成するキャリア教育（教科・体験活動での指導、汗を流す、清掃指導）を通して働く喜びや協働の大切さを学ばせる。
	(6) 家庭と連携した基本的な生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯、家庭学習30分～80分）の確立に努める。
	(7) 読書指導（読書旬間・月間、子どもと一緒に読書の日）や音楽指導（音楽集会）の充実に努める。
	(8) 月別生活目標の共通理解と共通実践を徹底し、基本的生活習慣の確立に努める。
4 健康・安全の態度と体力・気力の充実	(1) 子ども一人一人の課題解決を図る鍛える教科体育の実践に努める。（体育黒板の活用、チャレンジ体力、体育的行事等の充実）
	(2) 健康観察の実施と学習時間や休み時間、登下校時の安全指導の徹底による事故の未然防止に努める。
	(3) 保健指導の充実に努める。（疾病予防・性に関する指導、飲酒・薬物乱用防止、月別保健目標の徹底）
	(4) 給食指導の充実に努める。（異物混入防止、月別給食目標の徹底、食育の日や食育月間の指導の充実）
	(5) 交通事故・水難事故等の未然防止と不審者や災害等への対策の徹底を図り、危機回避能力の育成に努める。
	(6) 児童の体力に応じた計画的、継続的指導を行う。（一校一運動：朝のかけ足、チャレンジかごしま、竹馬、一輪車、なわとび）
5 人権同和教育や特別支援教育の推進	(1) 人権同和教育に対する理解と認識を深める教育を推進する。（人権旬間、人権月間、人権教室、講話、保健指導、人権・平和作文）
	(2) いじめ・不登校0を目指した一人一人を大事にする教育を推進する。（いじめ問題を考える週間、いじめ防止標語、心のひろばアンケート 教育相談）
	(3) お互いを認め合い、励まし合い、助け合う温かい人間関係と思いやりの心を育てる教育を行う。
	(4) 児童の実態や課題に応じた個別の指導計画を作成し、個のよさと可能性を伸ばす指導法の工夫・改善に努める。
6 特色ある学校づくりの推進	(1) 「花と作文とあいさつの学校」の継承と発展に積極的に取り組む。 ア 花やさつまいもの栽培等を通した勤労精神や生命尊重、感謝や感動する心の育成 イ 作文指導や俳句指導の充実とコンクール等への応募並びに読書指導の充実（学年選定図書の完読） ウ コミュニケーション能力を育む礼儀作法や言葉遣いの指導の徹底（あいさつ、言葉、聞く・話す力）
	(2) 総合的な学習の時間「ふくらっ子」や創意の時間「やまなみ」、外国語科・外国語活動の充実に努める。 ア 地域の素材・人材を生かした体験的・問題解決的な学習の構成 イ 自らの課題設定と課題解決への探究活動、自己解決能力、自己表現力の育成 ウ 今日的な課題（国際理解、情報、環境、福祉、健康、食育）、興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題等（高齢者とのふれあい活動）の設定
	(3) 郷土のよさ（人材・自然・施設・伝統・民俗等）を生かした、地域に開かれた学校づくりと積極的な情報発信を行う。 ア 保護者や地域との連携強化と学校評価を生かした学校経営の推進、学校だより発行、ホームページ更新 イ 校内組織の機能化やスクールガード・学校周辺機関との連携による事故防止 ウ 日曜参観や教育県民週間、学校評議員会・信頼される学校づくり委員会の実施と充実
7 教育環境の整備	(1) 学習につながる継続的な掲示や設営など温かみのある環境づくりを進める。
	(2) 人的環境の整備（言葉、服装）と奉仕活動・美化活動・清掃活動の充実、整理整頓の徹底に取り組む。
	(3) 適正な金銭・予算管理と執行を行い、施設・設備・備品管理及び活用と安全点検の確実な実施・対応に努める。
8 職員研修の充実	(1) 研究テーマの解明に向けて、計画的な授業研究を通した指導法の工夫・改善に努める。
	(2) 研究授業（講師招聘）の実施と指導力・教師力の向上に努める。（小・小連携 知覧中ブロック小中連携研修会）
	(3) 校外研修や短期研修、各種公開研究会等に参加し、指導上の課題解決や資質向上を目指す。（研修内容の報告と還元）
	(4) 個人研究テーマ設定と解明への研究・取組を継続し、実践記録・教育論文にまとめる。（自己申告への記載と応募）
	(5) 不祥事0を目指し、服務規律の厳正確保に努める。（教育公務員としての自覚と責任のある言動）